

令和6年度 学校経営計画書

学校番号	42	学校名	静岡県立静岡中央高等学校 通信制の課程	校長名	小野田 秀生
------	----	-----	------------------------	-----	--------

1 スクール・ミッション

県内唯一の公立通信制の課程を有する学校として、生徒が学習活動に主体的に取り組むための多様な支援をとおして、社会をつくる豊かな人間性・思考力・創造力を身に付けた、自立した人財の育成を目指す。

2 目指す学校

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
<p>このような力を育てます</p> <p>(1) 主体的に考え判断し、他者と協働し行動する力</p> <p>(2) 自分のよさや可能性を認識し、社会の中で表現できる力</p> <p>(3) 多様な価値観や互いの人権を尊重し合い、命と心を大切にする力</p> <p>(4) 学ぶ楽しさ、わかる喜びを知り、努力し学び続ける力</p>	<p>このような教育活動を行います</p> <p>(1) 基礎学力の定着と多様なニーズに応える柔軟なカリキュラム</p> <p>(2) 「自学自習」を尊重し、生徒個々に合わせた丁寧な添削指導</p> <p>(3) ICT を有効活用したわかりやすい学習指導</p> <p>(4) 互いを尊重し合い、主体性や協調性を育む特別活動</p>	<p>このような生徒を求めています</p> <p>(1) 「高校を卒業したい」という強く明確な意志を持つ生徒</p> <p>(2) 自ら計画し、自ら学び、自ら行動することができる生徒</p> <p>(3) マナーを大切にし、ルールを守ることができる生徒</p> <p>(4) 他者を認め、尊重することができる生徒</p>

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

(G=グラデュエーションP、C=カリキュラムP、A=アドミッションP)

ア 学ぶ喜びを実感できる学習システム、教育課程の構築 (G 1・4) (C 1・2)

イ 有徳の人を目指し、社会の中で生徒が自己実現できるための指導と支援の実施

(G 1・2・3) (C 4)

ウ ICT、放送教育の活用、リモート等の新しい通信制での学びについての検討 (C 3)

エ 広報活動の促進 (A 1・2・3・4)

オ 教職員の資質向上、コンプライアンスの遵守及び働き方改革の具現化

(G 1・2・3・4) (C 2・3・4) (A 3・4)

3 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当部署
ア 生徒の変化に対応した指導の在り方の検討	<ul style="list-style-type: none"> 報告課題指導及び面接指導を生徒の実態に合わせて改善する 生徒が理解しやすい教科指導に取り組む 3観点に基づいた RST を検証し、改善を継続する 生徒の実態に合わせた学校設定科目を検討する 学習システムの検討をする 	<ul style="list-style-type: none"> 単位修得率 50% 新入生の1科目以上単位修得率 60% 年度当初卒業予定者の卒業率 60% 生徒アンケート「レポートの内容がよく理解できた」75% 生徒アンケート「レポート添削指導は丁寧に行われている」90%以上 生徒アンケート「スクーリングは学習を進める上で役に立つ」90%以上 3キャンパス合同教科会議を年に3回程度実施 教育課程検討委員会を3回以上開催 新しいRSTの運用について検討を始める 	全教職員 教務部教務 各教科 CST 委員会

様式第1号

	生徒の学習環境の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な生徒に対応した学習環境の在り方を検討する ・生徒が一年を通じて学習を継続し、単位修得に至るための指導・支援方法を研究する 	<ul style="list-style-type: none"> ・新入生へ積極的な声かけにより、ホームルームへの参加数を増やす ・ユニバーサルデザインの視点に基づく報告課題・補助プリント・掲示物等の改善を継続する ・ICTを活用した学習支援を工夫する ・学習支援日を計画的に設け効率よく実施する ・スクーリング通信を月1回発行とICTを活用した配信を試行 	教務部教務 教務部情報 生徒部情報
	生徒の学力向上に向けた指導方法の改善	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート添削やスクーリングでの様子等から生徒の学力や困り感を的確につかみ、指導の検証、改善を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員アンケート「生徒の実態に基づき、面接指導(スクーリング)の改善に取り組んだ」100% ・教員アンケート「生徒の実態に基づき、報告課題(レポート)の改善に取り組んだ」80% 	全教職員
イ	すべての生徒に充実した支援を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・特別な支援を必要とする生徒等の指導方法を充実させる ・教員間における生徒情報の共有を促進し、有効な支援につなげる 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な生徒の個別の指導計画を作成する ・中学校訪問(春)を実施し、新入学生徒の情報を収集する ・生徒情報の入力、職員会議時の情報共有を充実させる ・「生徒保健カルテ」の活用を図る ・ケース会議(生徒支援委員会)を適切に開催する ・SCやSSW等、外部人材の有効活用を図る ・外部機関との連携を図る 	特別支援Co. 生徒支援委員会 生徒部生徒 生徒部保健 生徒部総務
	社会の中で自己実現するための支援の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・「自立活動」の充実に向けた支援体制の整備 ・行事への主体的な参加 ・生徒会活動の充実 ・進路面談や外部機関との連携による進路実現 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒個々の目標達成や単位修得のために指導・支援の方法を研究する ・個別の教育支援計画を作成する ・自立担当以外の教員とも連携し、情報共有を充実させる ・生徒アンケート「行事に積極的に参加した」40%以上 ・就職支援員やジョブサポートティーチャーの活用 ・外部機関の活用(就労支援) ・LINEアカウントによる保護者への情報提供を月一回以上 	自立活動委員会 生徒部生徒 教務部進路
ウ	ICTを活用した学習指導や放送教育の活用促進	<ul style="list-style-type: none"> ・Google Classroomの活用促進 ・クロームブックを活用した生徒学習支援の研究および、その他学習支援ツールの研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒アンケート「Classroomを活用した」50% ・教員アンケート「学習支援(スクーリングやレポート)にClassroomを活用した」60% 	教務部情報
	成績処理システムの円滑な運用	<ul style="list-style-type: none"> ・成績処理システムへの入力など業務を支援する 	<ul style="list-style-type: none"> ・随時マニュアルの改訂を行う 	生徒部情報
	ICTを活用した校務効率化	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急メールによる情報発信 ・Google classroomの活用 ・生成AIや採点システム等ICTツールの活用方法の研究 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒登録率85%(入学生) ・教員アンケート「学習支援以外(生徒連絡・進路指導・調査等)にGoogle classroomを活用した」50% ・DX推進委員会の分掌移行に向けた準備を行う 	教務部研修 DX推進委員会
エ	広報活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・中央高通信やホームページ等を活用した情報を積極的に発信する ・広報用資料の更新 ・通信制への理解を深めるため、入学説明会、中学校訪問(秋)を実施する ・外部の学校説明会へ積極的に参加する 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央高通信を年間4回発行 ・ホームページの改訂 ・パンフレットとチラシの更新 ・入学説明会は各キャンパスで年間・3回延べ9回実施する ・中学校訪問は各キャンパス20回延べ60回以上実施する ・外部への参加は3キャンパス合計年間20回以上実施する 	生徒部総務 入試検討委員会

様式第1号

才	教職員の資質の向上	<ul style="list-style-type: none"> 各自のキャリアステージを意識した研修の充実 校内外の研修を通して教職員の資質・能力等を向上させる キャンパスの実情に合わせた研修を実施する 人権教育を意識した教科指導や特別活動を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 全教職員が計画的に研修を実施する 全教職員による校内研修を3回以上実施する 教員が受けた研修を他の教員に伝達する機会を5回以上設定する 人権教育全体計画に基づき、年間指導計画を作成する 	教務部研修 全教職員
	コンプライアンス遵守	<ul style="list-style-type: none"> コンプライアンス遵守に向けた日常的な声掛け 誤送事故防止の具体定方策の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 交通事故ゼロの達成 発送時の複数チェックにより誤送事故ゼロを達成 	全教職員
	業務の精選と効率化	<ul style="list-style-type: none"> 業務内容を見える化し、業務見直しや精選を行う ICTを活用した業務の効率化を進める 	<ul style="list-style-type: none"> 各分掌で業務の整理分担を行う 教員アンケート「ICT(Classroomやクロームブック等)を活用したことで業務改善が進んだ」50% ICT活用が「できる」「ややできる」と答える教員90%以上 	全教職員
	生徒の安心安全確保のための防災意識の向上と対策の充実	<ul style="list-style-type: none"> キャンパスの実情に合わせた実践的な防災・安全指導を実践する 	<ul style="list-style-type: none"> 他校、他課程や、地域との連携を図る 教科指導を通し防災意識の向上を図る 	生徒部総務 各教科

(記入上の留意点)

具体的な重点項目が外部の方にもわかりやすいよう、工夫して記載すること。